

GAPを導入した農場での実習教育を通じて
有能な社会人を育成、輩出を目指す

宇都宮大学農学部附属農場



【コンバイン収穫実習】



【イネの生育調査】



【田植え実習】

品目名 / コメ	所在地 / 真岡市下籠谷443
登録番号 / A090000014	農場数 / -

農場の紹介／

大学農場はいうまでもなく高等教育・研究機関の一施設であり、農産物生産を通じて利潤を求める農家や、生産農場などの農業経営体とは大きく性格を異にしています。しかしながら、農業実習などの成果として多くの農産物が生産され、販売されていることは明らかです。「米」についてみれば、本学オリジナル水稻品種である「ゆうだい21」を7haほどの農場内の水田で栽培しています。特にその種子は、栽培を希望する全国各地の生産者へ向けて供給を行うという、国内大学農場でも極めて珍しい取り組みをしています。

このような生産状況の中で今回、農場がASIAGAP（穀物）の認証を受けた最大の目的は、場内で生産した農産物を差別化して有利販売するためではありません。農場における実習教育を通じてGAPの精神や考え方について学生たちに伝え、有能な社会人として世に送り出すことにあります。また、「ゆうだい21」の種子生産は従来の玄米生産にはない、異品種混入を許さないための特殊な圃場管理や収穫後の品質管理が求められます。これらの管理にもGAPの取り組みが大きく貢献しています。

GAPの根底にあるPDCAサイクルの実践、整理整頓、農作業安全、食品衛生管理など、どれをとってみてもあらゆる仕事の基本になる部分です。学生たちにはこれらの重要性をきちんと正しく認識してもらい、それらが自然な形で実習全体のメニューを通じて身につけ、学生たちの行動規範になっていくような教育を農場教職員が一丸となって進めています。

連絡先 / TEL : 0285-84-2424 (代表)
MAIL : fuznouj@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp